

【財政・金融論】 辻 爾志 ゼミ

演習テーマ： 金融論及び現代ファイナンス論に関する調査・研究

当ゼミにおいては、ゼミ(2年次前期は「演習」、2年次後期からは「専門演習」)のテーマを、『金融論及び現代ファイナンス論に関する調査・研究』と設定し、以下のような方針・活動・運営を予定しています(2年次前期は基礎的な学習です)。ゼミの目的は、言うまでもなく金融論及び現代ファイナンス論に関する学習・調査・研究です。年次に応じた段階的な学習・積み上げにより、自己の将来のために実力を蓄積しましょう。

1. 学習・調査・研究内容

当ゼミでの具体的な学習・調査・研究内容については、貨幣論、中央銀行論、金融政策、金融システム、国際金融論等の従来の伝統的な金融論に加え、金融資本市場論、証券投資論、企業財務論、金融リスク管理論等の現代ファイナンス論も含む形とし、実務・学術双方の経験を踏まえてゼミを運営します。

これにより、金融論及び現代ファイナンス論に関する広範な対象から、個々の学生が自己の興味に応じてレポートや演習論文のテーマを設定し、ゼミに主体的に取り組めるようゼミが設計され、進捗していきますので、金融・ファイナンス関係をしっかり押さえたい人には有益です。

2. 年次ごとの活動内容等

- (1) 2年次前期は、金融論及び現代ファイナンス論に関する基礎的な文献を通読し、基本的な知識の確実な習得を目指します。なお、これと併せて、2年次前期には3000字以上の「演習レポート」の作成・提出が必須となります。これらにより2年次後期からの専門的な演習に備えます。
- (2) 2年次後期からは、今後の各自の主体的な学習のための土台を築き、かつ視野を広げるべく、金融論及び現代ファイナンス論関係の専門的な知識の習得を目的に、ある程度専門的な文献を通読していきます。なお、これに加えて、2年次後期には、5000字以上の「基礎論文」の作成・提出が必須となります。
- (3) 3年次は、テキストを1冊か2冊に限定し、各自の理解が深く掘り下げられるよう学習を促進します。また、テキストの通読及びこれに関する発表と並行し、自己の興味が強いトピックス(金融論・ファイナンス関係から)を演習論文のために、主体的に自分自身で絞り込めるよう促進します。3年次前期終了時までには、皆が各自で演習論文のテーマを決定します。なお、当ゼミでは、3年次では10000字以上の「中間論文」の作成・提出を必須としています。これは演習論文への準備のみならず就職活動の準備としても極めて有益です。3年次終了までに自己のテーマで一定程度の調査・研究が進展していることは、就職活動にも非常に有利です。
- (4) 4年次のゼミの目的は、「演習論文(卒業論文)」の作成・完成です。4年次は、2年次、3年次での学習・調査の積み上げを基に、各自が卒業論文の作成に取り組めます。自分自身と後輩のために、ぜひ当ゼミに自己の学習・演習の軌跡——卒論を残してください。

3. その他の事項

当ゼミでは専門的な文献の通読による専門知識の習得・蓄積を最優先としますが、これに加えて、レジュメの作成要領、レポート・論文の作成方法、パワーポイントでの発表スキル等も習得できるよう適宜これらもゼミでの学習に織り込んでいく予定です。

また、幅広く関連知識・専門知識が蓄積できれば、他の発表者の発表内容に対する的を射た質問や、他者との有効な意見交換も徐々に可能となると思います。本格的な討論とまではいかなくとも、的確な質問や適切な作法での他者との有意義な質疑応答ができるようになることも、各自の今後を考えた場合重要となるでしょう。各種側面から着実な将来への準備を促進することも当ゼミの方針です。他者への思いやりを持ち、また他者と協調しつつ、専門的な学習に主体的かつ忍耐強く取り組める人の参加を希望します。興味のある人はぜひ説明会に来てください。

